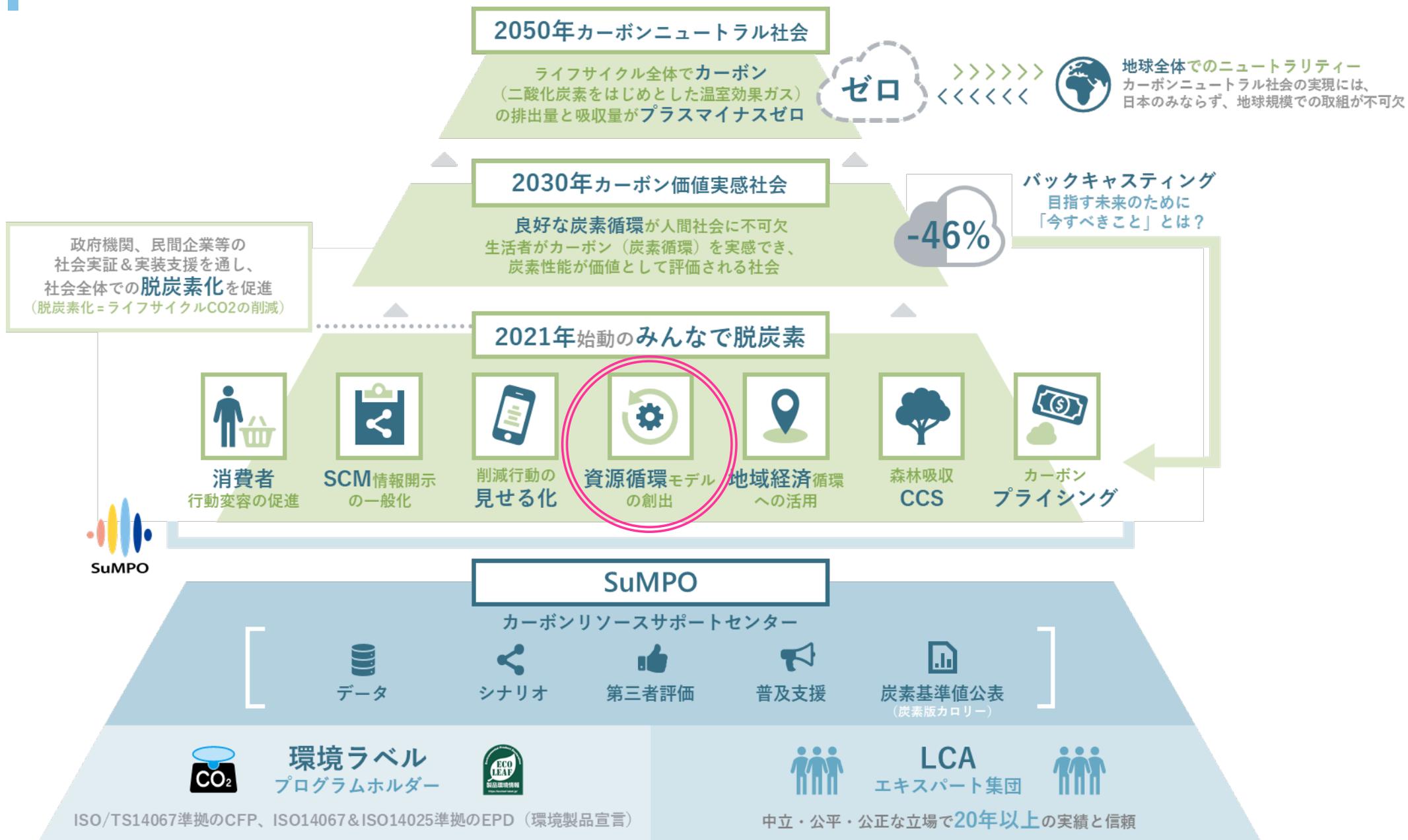


CN-CEビジネスモデルの創出

カーボンニュートラルを実現するサーキュラーエコノミーモデルの創出
(CE共創プロジェクト創出)

2021年度 CEモデル事業支援

SuMPOカーボンニュートラルイニシアティブ



③CNに繋がるサーキュラー型ビジネスモデルの支援

1. 目的

どの産業においても、持続的な収益性を確保した循環型ビジネスモデルへの移行が求められており、循環経済ビジョン2020においても、循環経済への転換が急務であるとされている。循環経済への転換は、新しい産業モデル、ビジネスモデルを作り上げるチャンスであり、マテリアルフローの転換、見直しにより脱炭素の面でも効果がある。

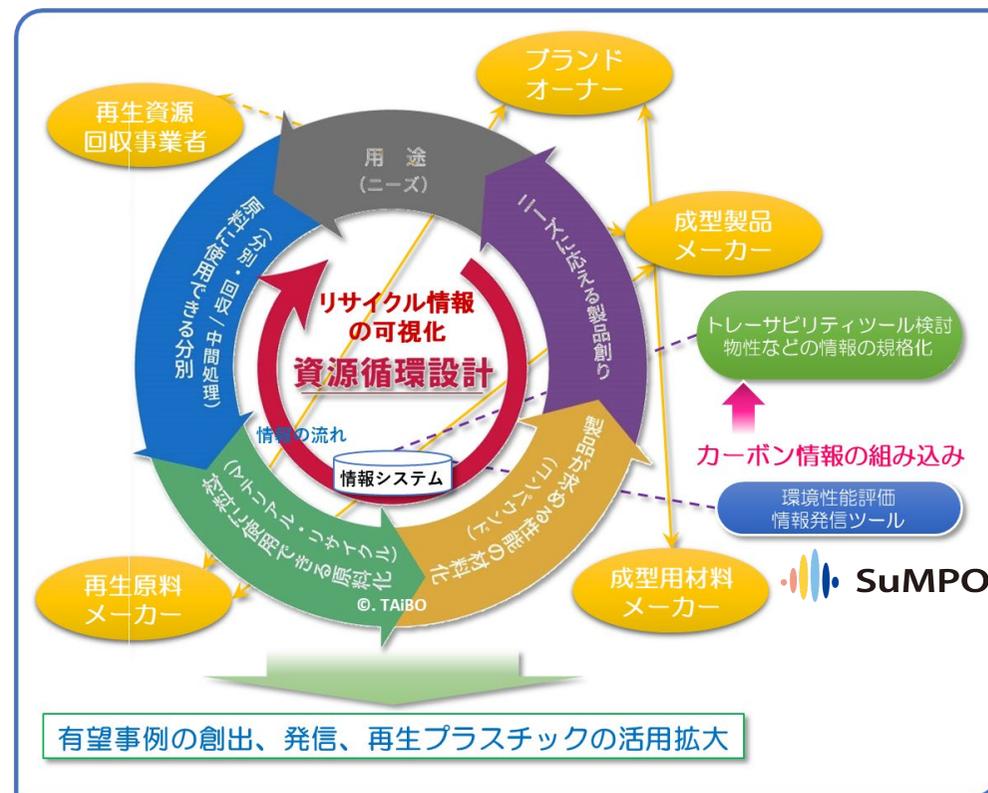
本事業では、地域特性、資源特性（再生可能資源、有限資源）にも着目しつつ、循環経済への移行のドライバーとなるデジタル技術の活用・実装を進め、資源の継続的な確保と徹底した資源利用を実現するサステナブルな資源循環型（サーキュラーエコノミー：CE型）の実現により脱炭素効果が見込まれるビジネスモデルの計画策定、事業実施支援を行う。

2. 内容

- ① CNに繋がるサーキュラー型ビジネスモデルの創造
- ② 中小・中堅企業を対象とした再生材使用、リユース、循環活用、サービス化等のビジネスモデルのプランニング、共創事業体企画、システム開発・設備導入等の支援、および、環境性能評価、CO2削減効果算定支援
- ③ 2021～2025年

3. 概要図

☆ex. 再生プラスチック使用モデル



- ◇アルミ材クローズドリープリサイクルの実現
- ◇繊維資源再生循環・地産地消型プロジェクト
- ◇PaaSビジネスモデル転換プロジェクト

背景・潮流

- 気候変動対策の加速が求められている（社会全体の危機感と要請）
- カーボンニュートラル社会の実現（ポスト成熟化社会）が世界の潮流
- カーボンニュートラルに貢献する資源循環ビジネス（持続可能な新産業の創造）への期待が高まっている
（資源効率性の追求、産業転換（サービス化等）等）

カーボンニュートラル × 循環経済 ＝ 気候変動対策、地球環境課題対応、社会課題解決

CEは、脱炭素（適切、適正な炭素循環）に直結／貢献
CN社会の実現を目指す世界的潮流の中で、再生資源活用への注目、ニーズが高まっている。
国際社会では、「日本の再生材」の評価が高く、日本にある有望・優秀な再生材の調達・奪取に走る動きが活発化してきている（特にプラスチック分野で顕著）。

循環型ビジネスモデルの構築により、国際的な有望資源争奪競争で、優位な立場を築くことができる。

CEによるCNの達成に向けて

実践の仕組みづくりと実践の場（CEモデル） ×
SuMPO-CNI（リソースセンター、環境ラベル等）

CO2削減の「量」の拡大、社会への貢献「量」の創造

気候変動対策（CN実現）への貢献

CN-CEプロジェクト（サーキュラー型ビジネスモデル）推進支援

